



2024年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月12日

上場会社名 株式会社イオンファンタジー 上場取引所 東
コード番号 4343 URL <https://www.fantasy.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 徳也
問合せ先責任者(役職名) 取締役兼常務執行役員 管理統括兼 (氏名) 井関 義徳 (TEL) 043 (212) 6203
リスクマネジメント担当
四半期報告書提出予定日 2024年1月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第3四半期の連結業績(2023年3月1日~2023年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第3四半期	59,486	12.7	1,656	—	2,324	555.9	341	—
2023年2月期第3四半期	52,778	23.8	△134	—	354	—	△2,232	—

(注) 包括利益 2024年2月期第3四半期 △187百万円(—%) 2023年2月期第3四半期 △2,301百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年2月期第3四半期	円 銭 17.30	円 銭 17.29
2023年2月期第3四半期	△112.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年2月期第3四半期	百万円 50,294	百万円 7,767	% 15.0
2023年2月期	46,917	8,138	16.9

(参考) 自己資本 2024年2月期第3四半期 7,541百万円 2023年2月期 7,945百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年2月期	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 10.00
2024年2月期	—	5.00	—	—	—
2024年2月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日~2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,200	18.6	4,000	371.0	2,700	104.8	600	—	30.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年2月期3Q	19,770,725株	2023年2月期	19,768,825株
2024年2月期3Q	2,052株	2023年2月期	1,919株
2024年2月期3Q	19,767,738株	2023年2月期3Q	19,766,980株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は「こどもたちの夢を育み、“えがお”あふれる世界をつくる。」というパーパスを掲げ、企業価値向上の実現と持続可能な社会への貢献に向け、事業活動を推進しております。

当第3四半期連結累計期間(2023年3月1日~2023年11月30日)における当社及び連結子会社の連結業績は、売上高594億86百万円(前年同期比12.7%増)、営業利益16億56百万円(前年同期営業損失1億34百万円)、経常利益23億24百万円(前年同期比555.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億41百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失22億32百万円)となりました。各国為替レートが円安に進み、営業外収益に為替差益を9億14百万円計上しております。

国内事業は、戦略的小型店の積極的な出店により売上が拡大し、当第3四半期連結累計期間の売上高は466億35百万円と過去最高になりました。

中国事業は、景気の不透明感や、感染症が流行したことによりこどもの来店客数が減少したことから売上が伸び悩み、当第3四半期連結累計期間における売上高は50億94百万円となりました。

アセアン事業は、当第3四半期連結累計期間の売上高が79億13百万円、営業利益は四半期連結会計期間としては8期連続の営業黒字となりました。

店舗数については、当第3四半期連結累計期間での新規出店153店舗、閉店47店舗となり、2023年11月末時点で国内699店舗、海外451店舗、合計1,150店舗(直営店1,139店舗、F C等11店舗)となりました。

(国内事業)

国内事業は、戦略的小型店の拡大と既存店の好調により当第3四半期連結累計期間は第3四半期連結累計期間の売上高としては過去最高となりました。

当第3四半期連結累計期間においてカプセルトイ専門店「TOYS SPOT PALO」、プライズ専門店「PRIZE SPOT PALO」合計で94店舗の戦略的小型店を出店いたしました。「グリナード永山」「静岡PARCO」といった駅ビルや百貨店などイオングループ外の新たな出店先を開拓いたしました。

既存店では、回復感が鮮明になってきたメダル部門において、11月より人気機種「桃太郎電鉄」を追加導入すると同時に、BLACK FRIDAYキャンペーン期間にメダルの販促を行った結果、当部門の当第3四半期連結累計期間の売上高前年同期比は120.5%となりました。プライズ部門では、お子さま向けのキッズプライズが引き続き好調に推移しており、当部門の当第3四半期連結累計期間の売上高前年同期比は106.9%となりました。

当第3四半期連結累計期間はモーリーファンタジー5店舗、カプセルトイ専門店65店舗、プライズ専門店29店舗、ちきゅうのにわ1店舗、ミューの森1店舗、その他3店舗を新規出店する一方、不採算店舗等14店舗を閉店し、2023年11月末では699店舗となりました。

以上の結果、国内事業における当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高466億35百万円(前年同期比9.2%増)、営業利益22億51百万円(前年同期比126.0%増)となりました。

(中国事業)

中国事業は、経済活動の不透明感と感染症の流行により、来店客数が減少し売上が伸び悩みました。しかしながら、ROIが高い戦略的小型店の出店と、不採算店舗の閉店や経費の削減を実施し、営業利益は前年同期から5億38百万円改善いたしました。

当第3四半期連結累計期間は、直営15店舗を新規出店する一方、不採算店舗等21店舗を閉店し、2023年11月末の店舗数はF C 6店舗を含め189店舗となりました。

以上の結果、中国事業における当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高50億94百万円(前年同期比37.0%増)、営業損失14億89百万円(前年同期営業損失20億27百万円)となりました。

(アセアン事業)

アセアン事業は、アミューズメント業界内やプレイグラウンド業界内で店舗数・売上ともに第1位のマレーシア、フィリピンが引き続き好調に推移し、アセアン事業全体の業績を牽引した結果、当第3四半期連結累計期間の売上高既存店前年同期比は113.6%となり、第3四半期連結累計期間としては売上高、営業利益ともに過去最高となりました。

マレーシアでは、アミューズメント人気が続いており、お子さまに人気がある「ポケモンガオーレ」のスタジアムをオープンするなど、新たな取り組みも実行しております。

当第3四半期連結累計期間は、34店舗を新規出店する一方、不採算店舗12店舗を閉店し、2023年11月末の店舗数はFC5店舗を含め262店舗となりました。

以上の結果、アセアン事業における当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高79億13百万円(前年同期比24.3%増)、営業利益8億99百万円(前年同期比0.2%増)(※1)となりました。

(※1) アセアン事業で当第3四半期連結累計期間に前期には発生していなかった社内ブランドロイヤルティ(約1.5億円)が発生しております。フィリピンでは前第3四半期連結累計期間の営業利益において、コロナ影響による家賃減免効果(約1億円)がありました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、121億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億7百万円増加いたしました。主な内訳は、売上預け金の増加(4億40百万円)、棚卸資産の増加(4億24百万円)、現金及び預金の増加(2億29百万円)であります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、381億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億69百万円増加いたしました。主な内訳は、新店及び店舗活性化に伴う遊戯機械の増加(12億19百万円)、建物の増加(6億65百万円)及び使用権資産の増加(5億93百万円)であります。

この結果、総資産は502億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億77百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、367億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ43億67百万円増加いたしました。主な内訳は、短期借入金の増加(31億3百万円)、未払費用(主に未払賃借料)の増加(5億35百万円)、買掛金の増加(4億18百万円)であります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、58億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億19百万円減少いたしました。主な内訳は、連結子会社における長期借入金の減少(6億52百万円)、長期割賦未払金の減少(4億29百万円)、連結子会社におけるリース債務の増加(3億97百万円)であります。

この結果、負債合計は425億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ37億48百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、77億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億71百万円減少いたしました。主な内訳は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上(3億41百万円)、剰余金の配当による減少(1億97百万円)、為替の変動に伴う為替換算調整勘定の減少(5億65百万円)であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年4月12日に公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,081,975	6,310,977
売掛金	248,227	159,289
売上預け金	734,050	1,174,559
棚卸資産	2,156,417	2,580,786
その他	1,621,847	1,924,221
流動資産合計	10,842,517	12,149,833
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,902,698	5,568,246
遊戯機械（純額）	16,202,773	17,422,740
使用権資産（純額）	3,519,085	4,112,834
その他（純額）	1,970,684	1,891,677
有形固定資産合計	26,595,241	28,995,499
無形固定資産		
のれん	135,035	121,147
ソフトウェア	1,299,155	1,358,911
その他	4,685	4,599
無形固定資産合計	1,438,876	1,484,657
投資その他の資産		
敷金及び差入保証金	4,601,768	4,636,781
その他	3,438,903	3,027,563
投資その他の資産合計	8,040,671	7,664,345
固定資産合計	36,074,789	38,144,502
資産合計	46,917,307	50,294,336

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,432,864	1,851,136
短期借入金	19,542,050	22,645,109
1年内返済予定の長期借入金	1,307,274	1,052,395
1年内返済予定の長期割賦未払金	566,324	571,330
リース債務	2,018,731	2,070,127
未払費用	1,690,766	2,226,528
未払法人税等	658,746	672,734
賞与引当金	495,106	669,936
役員業績報酬引当金	32,128	51,038
閉店損失引当金	190,757	89,721
設備関係支払手形	1,478,985	1,517,377
その他	2,940,795	3,304,763
流動負債合計	32,354,531	36,722,200
固定負債		
長期借入金	1,025,655	372,977
長期割賦未払金	1,641,144	1,212,019
リース債務	2,504,862	2,901,917
退職給付に係る負債	115,567	110,048
資産除去債務	941,623	1,037,496
その他	195,569	170,576
固定負債合計	6,424,423	5,805,035
負債合計	38,778,955	42,527,235
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,806,987	1,809,786
資本剰余金	4,825,630	4,828,429
利益剰余金	1,902,889	2,047,192
自己株式	△4,176	△4,635
株主資本合計	8,531,331	8,680,772
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△568,301	△1,134,078
退職給付に係る調整累計額	△17,204	△5,468
その他の包括利益累計額合計	△585,506	△1,139,547
新株予約権	31,437	40,017
非支配株主持分	161,089	185,858
純資産合計	8,138,352	7,767,100
負債純資産合計	46,917,307	50,294,336

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年3月1日 至2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年11月30日)
売上高	52,778,388	59,486,739
売上原価	48,422,142	52,898,853
売上総利益	4,356,245	6,587,885
販売費及び一般管理費	4,490,652	4,931,409
営業利益又は営業損失(△)	△134,406	1,656,476
営業外収益		
受取利息	53,969	57,438
為替差益	809,593	914,746
受取保険金	28,042	29,434
固定資産売却益	203	589
預り金受入益	6,138	1,986
リース解約益	21,888	48,374
増値税還付金	27,941	45,153
その他	30,718	37,228
営業外収益合計	978,495	1,134,952
営業外費用		
支払利息	446,369	411,557
固定資産売却損	14,030	10,711
その他	29,269	44,387
営業外費用合計	489,670	466,656
経常利益	354,419	2,324,772
特別利益		
雇用調整助成金	33,476	—
減損損失戻入益	—	63,056
閉店損失引当金戻入額	—	95,658
特別利益合計	33,476	158,714
特別損失		
閉店損失引当金繰入額	40,036	54,037
減損損失	601,321	703,273
店舗閉鎖損失	12,193	41,909
店舗休止損失	1,083,264	—
災害による損失	15,039	—
特別損失合計	1,751,854	799,220
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,363,958	1,684,266
法人税、住民税及び事業税	570,999	793,457
法人税等調整額	252,252	535,466
法人税等合計	823,251	1,328,923
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,187,210	355,342
非支配株主に帰属する四半期純利益	45,410	13,361
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,232,620	341,981

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,187,210	355,342
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△127,542	△554,370
退職給付に係る調整額	13,388	11,735
その他の包括利益合計	△114,154	△542,634
四半期包括利益	△2,301,365	△187,291
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,346,966	△212,060
非支配株主に係る四半期包括利益	45,601	24,768

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(重要な会計上の見積り：固定資産の減損)

当第3四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した「重要な会計上の見積り：固定資産の減損」について、以下のとおり中国の売上高における仮定を変更しております。

将来キャッシュ・フローの見積りにおいて、中国の事業環境の悪化や今後の見通しの不確実性を勘案し、中国の売上高の回復時期について見直しを行っており、売上高の回復の仮定については、2025年2月期連結会計年度中に新型コロナウイルス感染症拡大前の水準まで概ね回復するとの仮定に変更しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内	中国	アセアン	計		
売上高						
外部顧客への売上高	42,694,930	3,717,471	6,365,985	52,778,388	—	52,778,388
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,841	—	—	1,841	△1,841	—
計	42,696,772	3,717,471	6,365,985	52,780,229	△1,841	52,778,388
セグメント利益又は損失(△)	996,250	△2,027,755	897,260	△134,244	△161	△134,406

(注) 調整額は、セグメント間取引消去等によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間に、「国内」セグメント16,684千円、「中国」セグメント545,477千円、「アセアン」セグメント39,159千円の減損損失を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内	中国	アセアン	計		
売上高						
外部顧客への売上高	46,478,942	5,094,050	7,913,746	59,486,739	—	59,486,739
セグメント間の内部売上高 又は振替高	156,205	—	—	156,205	△156,205	—
計	46,635,147	5,094,050	7,913,746	59,642,944	△156,205	59,486,739
セグメント利益又は損失(△)	2,251,821	△1,489,421	899,109	1,661,509	△5,033	1,656,476

(注) 調整額は、セグメント間取引消去等によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間に、「国内」セグメント5,486千円、「中国」セグメント666,483千円、「アセアン」セグメント31,303千円の減損損失を計上しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。